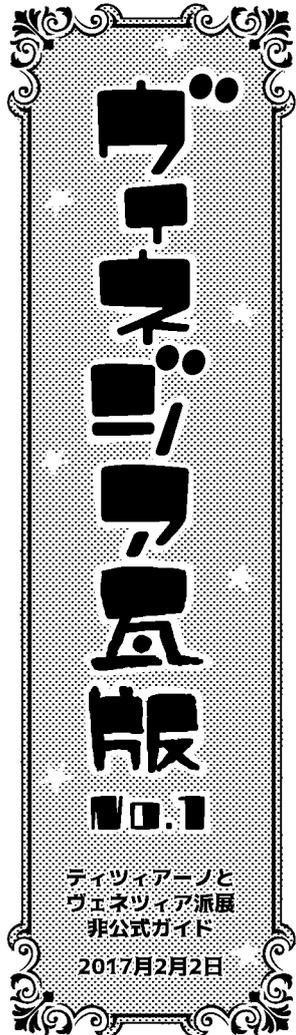
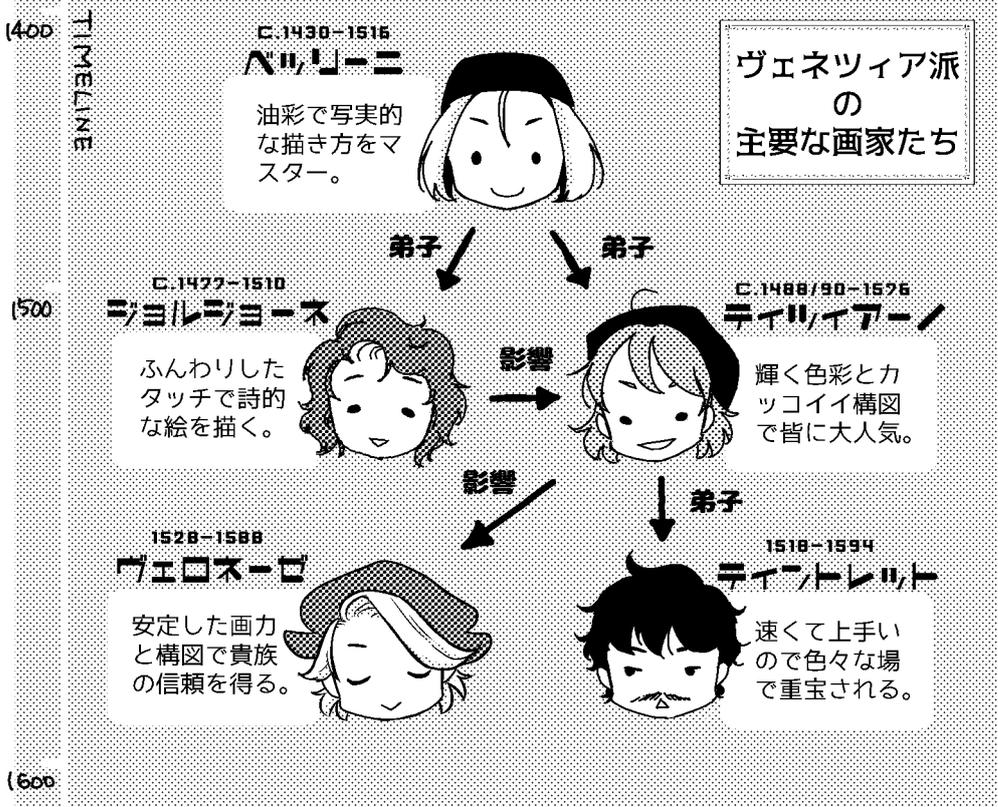


# ヴェネツィア派が東京にやってきた!



1月21日、東京都美術館にて「ティツィアーノとヴェネツィア派展」が開幕した。そこで、展覧会を最大限に楽しめるよう、本紙ではヴェネツィア派の特徴や作品の魅力を、お伝えしたい。ルネサンス期のヴェネツィアに優れた画家は多いが、とりあえず左図に示した5人を押さえておくことでベリーグッド、もといモルトベーネである。



## ヴェネツィアは聖母の街

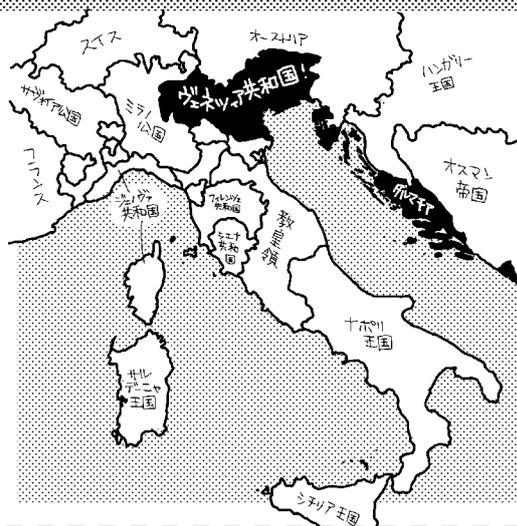


マルコ・バザイアーティ  
《聖母子と寄進者》1498年ごろ  
ヴェネツィア、コッレル美術館蔵

聖母マリア信仰が盛んな都市は多いが、なかでもヴェネツィアは筋金入りだ。なんと建国記念日がマリアの受胎告知の日。ヴェネツィアはイエスとともに生まれた都市だといふわけだ。聖母子の絵が多いのもうなずける。

## そもそもヴェネツィアってどこ?

ヴェネツィアと聞くと、海に浮かぶ島を思い浮かべる人が多いかもしれない。しかし、ヴェネツィア共和国はじつはものすごく広い。右図は一五〇〇年ごろの地図だが、黒く塗りつぶしてあるところが全部がヴェネツィア共和国なのである。共和国全盛期にあたる一四四〇年ごろはさらに広く、ギリシャのクレタ島までもがヴェネツィア領だった。



### ヴェネツィア共和国・基本データ

- 建国日 ● 西暦421年3月25日(伝承)
- 政治 ● 選挙で元首を決める共和制
- 宗教 ● 敬虔なカトリック



レオナルドやミケランジェロなど、フィレンツェの芸術家たちに比べると、日本での知名度が劣る気もする…。これはおそらく、初めて美術史を体系的に記したヴァザーリが、かなりのフィレンツェびいきだったことが関係している。ヴァザーリの美術史観は今なお根強く、ルネサンスといえばフィレンツェというイメージができてしまっているのだ。

マイナーなのに、

セレニツ島のご意見番  
リドルフィに  
訊け!



カルロ・リドルフィ▼  
1594年生。画家・美術批評家。  
主著に『芸術の驚異』がある。

やれ素描が一番重要だ、いや  
彩色だ、と騒がれていますが、  
賢明な読者諸君はすでににお気  
づきのように、結論としては、  
どちらも大事なのです▼こん  
にち、素描ではミケランジェ  
ロが、彩色ではティツィアー  
ノが最高峰であることはもは  
や自明ですね。ミケランジェ

ロの素描とティツィアーノ  
の彩色を兼ね備えた画家こ  
そ完全であると言った批評  
家もいました▼これを踏ま  
えると、画家ティントレット  
が、自らのアトリエに「ミケ  
ランジェロの素描とティツィ  
アーノの彩色」というモット  
ーを掲げたのも、納得です。

ディセーニョ コロリット  
素描と彩色、より重要なのは

プロポーションも重要だが、  
彩色によって可能となる肌や  
素材の質感の再現こそ、絵画の  
キモなのでは？

人物描写のカギとなる人体の  
正しいプロポーションを把握  
するには、素描が必要不可欠！

素描だけでできても絵は完成し  
ない。彩色があって初めて絵は  
生きてくるし、観る人の感情に  
訴えることができる！

絵が生きて見えるだけでは  
不十分。画家は素描を通して  
描く対象の最も美しいところ  
を抽出し、自然を越えるのだ！

素描も大事だが彩色をおろそか  
にしてはならない！ 構図も素描  
も彩色も、全てにおいて完璧  
なのはティツィアーノだ！

素描はあらゆる芸術の基礎！  
基礎を押えて全ての芸術に  
秀でたミケランジェロこそ  
究極の芸術家！

彩色派  
ドルチエ氏

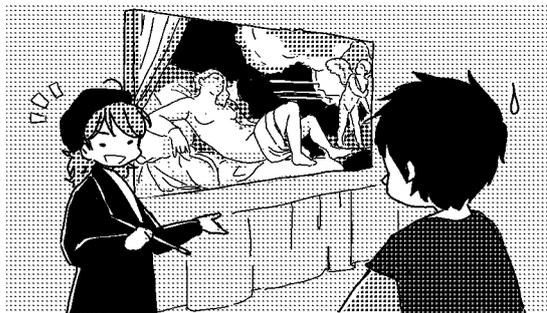


素描派  
ヴァザリー氏

一六世紀のヴェネツィア、ひい  
てはイタリア全土のアートシ  
ーンで盛り上がりつつあったのは、  
なんといっても素描と彩色の  
優劣論争。絵画においてより重  
要なのは、素描なのか、はたまた  
彩色なのか？そこで本紙では、  
立場の異なる一六世紀の美術  
批評家を二人お呼びして、素描  
もしくは彩色が、他方より重要  
だと思われる理由について、ト  
コトン話し合っていた。

ローマ在住の彫刻家ミケ  
ランジェロ氏が、一五四  
六年にティツィアーノ氏  
のアトリエを訪れていた  
ことがわかった。ティツィ  
アーノ氏はフアルネーゼ  
枢機卿の招聘により、ロ  
ーマに滞在中であった。  
このときアトリエには、  
ティツィアーノ氏が描き  
上げたばかりの『ダナエ』  
の絵があり、ミケランジェ  
ロ氏はこれを見て、おお  
いに賞賛した。しかし、関  
係者によると、同氏は後  
にこの絵について以下の  
ようなコメントを残して  
いたという。「彩色はいい  
のに素描がなくなってなくて  
もったいないな。なんで

ミケランジェロ氏  
ティツィアーノ氏と面会  
巨匠の邂逅、溝は深く



ヴェネツィアの人は素描  
の勉強をしようとしな  
いのかね。二人の間の溝は  
まだまだ深いようだ。

〈広告〉 **増刷決定!**  
バルダッサレ・カスティリオーネ著  
**宮廷人の書**  
高貴な宮廷でどのように  
振る舞うべきか、愉快な  
キャラクターたちが  
やさしく解説!  
ゆっくり、いそげ、  
アルド出版

\*\*\*\*\*

<p>【展覧会情報】 ティツィアーノと ヴェネツィア派展 2017年1月21日～4月2日 東京都美術館 9:30～17:30 [金曜は20時まで] 月曜休館 [3/20、3/27は開館]</p>	<p>【瓦版発行者情報】 めり [Twitter: @cari_meli] 某大学でイタリア・ルネサンス美術史を 研究している。 「クーリエ・ジャポン」で 美術史コラム「リナシタツ」 を連載中！ 見てみてね！ → </p>	<p>【予告】 「ヴェネジァ瓦版」第2号は… ヴェネツィア美女の秘密に迫り ます！ ティツィアーノの美女の 描き方も明らかに…?? <b>2月17日 ごろ配信予定!</b> (書いてれば)</p>
---	---	--

\*\*\*\*\*